



2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年4月11日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東
コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 及川 智正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 坂本 大輔 TEL 03-6417-1047
四半期報告書提出予定日 2024年4月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の業績 (2023年9月1日～2024年2月29日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	3,490	26.0	53	48.3	54	48.5	41	25.6
2023年8月期第2四半期	2,769	10.8	36	—	37	—	32	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	1.87	—
2023年8月期第2四半期	1.49	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	2,565	965	37.6
2023年8月期	2,418	923	38.2

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 965百万円 2023年8月期 923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年8月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（%表示は対前期増減率）

	営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	50	36.9	50	7.0
	～100	～173.8	～100	113.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。2024年8月期の個別業績予想についてはレンジ形式により開示しております。詳細は添付資料（P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2Q	22,025,900株	2023年8月期	22,025,900株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	4,271株	2023年8月期	3,970株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2Q	22,021,882株	2023年8月期2Q	22,023,145株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料（P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

近年の全国農業総産出額は、米、野菜、肉用牛等における国内外の需要に応じた生産の進展等を背景に、9兆円前後で推移しております。2022年の農業総産出額は、野菜の作柄不良や米の民間在庫量減少による価格の上昇、畜産における豚や鶏の価格の上昇等から、前年に比べ1,631億円増加し、9兆15億円となりました。近年の生産農業所得は、全国農業産出額の増減はあるものの、3兆円台で推移しております。2022年は、国際的な原料価格の上昇等により、肥料、光熱費の上昇等により、前年に比べ2,428億円減少し、3兆1,051億円となりました。(出典：農林水産省「生産農業所得統計」)。他方で、2023年2月時点の農業経営体数92万9千経営体のうち、個人経営体は88万8千経営体で、前年に比べ5.0%減少した一方、団体経営体は4万経営体で1.5%増加し、団体経営体のうち、法人経営体は3万3千経営体で前年に比べ2.5%増加しております(出典：農林水産省「農業構造動態調査」)。農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大の進展が継続し、農業集約化の動きも加速するものと予想されます。

当第2四半期累計期間における青果価格は、猛暑や天候不順の影響により、平年に比べ高い水準で推移してまいりました。一方、当第2四半期累計期間におけるスーパーマーケットにおける青果物の需要は、肉食需要の低下や食料品等の相次ぐ値上げ等により低水準が続いているものの、相場高の影響により単価が上昇し、青果物の販売動向は前年に比べ増加いたしました。

このような環境のもと、より多くの生活者に「おいしい」をお届けするために、当社の主たる事業である農家の直売所事業及び成長事業である産直卸事業を推進いたしました。前事業年度に締結いたしましたハウス食品グループ本社株式会社とのアライアンスを継続するとともに、ドラッグストアへの販路拡大等、新しい農産物流通の創造に向けた取組みの深化を進めてまいりました。各種値上げ等のコスト増が見込まれる環境においても利益が確保できるよう、流通総額の拡大とともに手数料等の改定を行い、事業基盤の強化に努めました。

このような取組みの結果、流通総額は7,689,831千円(前年同四半期比19.4%増)、2024年2月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は2,036店舗(前事業年度末より41店舗増)、農産物の集荷拠点である集荷場は89拠点(前事業年度末より3拠点減)、登録生産者は10,362名(前事業年度末より16名減)となりました。

当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高は3,490,636千円(前年同四半期比26.0%増)、営業利益は53,458千円(前年同四半期比48.3%増)、経常利益は54,977千円(前年同四半期比48.5%増)、四半期純利益は41,273千円(前年同四半期比25.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①農家の直売所事業

農家の直売所事業では、当社及び業務委託先が運営する集荷場で登録いただいた生産者から農産物を出荷し、原則翌日にスーパー等の「産直コーナー」で販売する独自の流通プラットフォームを提供しております。

当第2四半期累計期間は、既存委託販売先との取引維持・拡大に加え、登録生産者獲得のため、集荷場を拠点とした営業活動を行ってまいりました。また、スーパーでの品揃えを実現するため、品目バランスを考慮した買取委託の増加や兵庫の集荷場における登録生産者からいただく出荷手数料の改定等、事業基盤の強化に努めました。

これにより、流通総額は6,511,240千円(前年同四半期比16.9%増)、流通点数は30,294千点(前年同四半期比3.0%増)、売上高は2,330,795千円(前年同四半期比22.5%増)、セグメント利益は322,188千円(前年同四半期比3.5%減)となりました。

②産直卸事業

産直卸事業では、当社が生産者から直接農産物を買取り、商品の「パッケージ」、売場の「POP」、生産者のおすすめ「レシピ」などで商品の付加価値を可視化し、スーパー等の通常の青果売場である「青果コーナー」で販売しております。

当第2四半期累計期間は、スーパー等の取引先の旺盛なニーズに対応するため、引き続き、全国の産地や市場との連携により商品供給を強化し、既存取引先との取引拡大に伴いストックビジネス化が進展いたしました。

これにより、流通総額は1,178,591千円(前年同四半期比36.0%増)、売上高は1,159,840千円(前年同四半期比33.8%増)、セグメント利益は29,408千円(前年同四半期はセグメント損失1,127千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ146,990千円増加し、2,565,130千円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べ131,317千円増加し、2,117,504千円となりました。これは主に、現金及び預金

の増加19,870千円、売掛金の増加86,269千円、商品の増加21,923千円、その他流動資産の増加3,696千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べ15,673千円増加し、447,625千円となりました。これは、有形固定資産の減少6,182千円、無形固定資産の減少16,769千円、投資その他の資産の増加38,625千円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ105,718千円増加し、1,600,105千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ87,137千円増加し、1,279,639千円となりました。これは主に、買掛金の増加92,366千円、短期借入金の減少9,996千円、未払金の減少3,990千円、未払法人税等の減少2,483千円、その他流動負債の増加12,706千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ18,580千円増加し、320,465千円となりました。これは主に、長期借入金の増加18,971千円等によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ41,272千円増加し、965,024千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加41,273千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前事業年度末と比較して19,870千円増加し、1,094,339千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は82,988千円増加しました(前年同四半期は56,281千円の増加)。主な増加要因は、税引前四半期純利益54,987千円、減価償却費31,087千円、仕入債務の増加92,366千円、未払金の増加10,279千円等であります。主な減少要因は、棚卸資産の増加19,974千円、売上債権の増加86,269千円、法人税等の支払額5,532千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は71,685千円減少しました(前年同四半期は16,802千円の減少)。主な増加要因は、関係会社株式売却による収入10千円であります。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出1,725千円、無形固定資産の取得による支出20,680千円、関係会社株式の取得による支出50,000千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は8,567千円増加しました(前年同四半期は47,247千円の減少)。主な増加要因は、長期借入れによる収入50,000千円等によるものであります。主な減少要因は、短期借入金の減少9,996千円、長期借入金の返済による支出31,029千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年10月12日の「2023年8月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

外部環境につきましては、食の安心・安全への生活者の意識は高い傾向が続いております。一方、スーパーマーケットにおける青果需要は、感染症の流行の終息による外食や旅行等の消費活動の活発化に伴う内食需要の低下や食料品やエネルギー価格の相次ぐ値上げ等による買い控えの影響で、低水準で推移しております。

このような環境のもと、当社の主たる事業である農家の直売所事業では、前事業年度に開設した集荷拠点や店舗が通年で寄与することに加え、スーパー等の取引先への営業活動の強化、エリア産直に対応した集荷場開設等の供給力の強化を進めてまいります。産直卸事業では、JA等の大型産地と連携し、既存取引先への営業を強化してまいります。スーパー以外の販路での販売エリアを拡大し、流通総額の拡大を図ってまいります。また、更なる物価の上昇や物流費の増加等も想定されることから、出荷手数料改定等の利益率向上施策にも引き続き取り組んでまいります。

以上により、2024年8月期の業績見通しにつきましては、流通総額14,000,000千円～15,000,000千円(前事業年度比4.8%～12.2%増)、営業利益50,000千円～100,000千円(前事業年度比36.9%～173.8%増)、経常利益50,000千円～100,000千円(前事業年度比7.0%～113.9%増)を見込んでおります。

下限シナリオにつきましては、都心部近郊の集荷拠点開設や生産者開拓が計画通り進まず、生産者委託の商品供給量が減少した場合を想定し、上限シナリオにつきましては、生産者委託の供給量が計画通りの場合を想定しております。

なお、売上高と当期純利益につきましては、会計処理の異なる委託販売や買取委託の構成比や繰延税金資産の計

上等、合理的に見通すことが困難であるため、現時点では開示しておりません。今後開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,074,469	1,094,339
売掛金	881,493	967,762
商品	15,964	37,887
その他	19,549	23,245
貸倒引当金	△5,288	△5,730
流動資産合計	1,986,186	2,117,504
固定資産		
有形固定資産	79,481	73,299
無形固定資産	117,288	100,519
投資その他の資産	235,182	273,807
固定資産合計	431,952	447,625
資産合計	2,418,139	2,565,130
負債の部		
流動負債		
買掛金	798,693	891,060
短期借入金	48,354	38,358
1年内返済予定の長期借入金	55,434	55,434
未払金	173,140	169,149
未払法人税等	5,531	3,048
賞与引当金	38,864	37,399
その他	72,484	85,190
流動負債合計	1,192,502	1,279,639
固定負債		
長期借入金	285,796	304,767
その他	16,088	15,698
固定負債合計	301,884	320,465
負債合計	1,494,387	1,600,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	849,128	849,128
利益剰余金	24,866	66,139
自己株式	△242	△243
株主資本合計	923,752	965,024
純資産合計	923,752	965,024
負債純資産合計	2,418,139	2,565,130

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	2,769,394	3,490,636
売上原価	1,328,270	1,840,198
売上総利益	1,441,123	1,650,438
販売費及び一般管理費	1,405,084	1,596,979
営業利益	36,039	53,458
営業外収益		
受取賃貸料	480	480
受取保険金	1,118	1,271
その他	743	982
営業外収益合計	2,341	2,734
営業外費用		
支払利息	1,361	1,193
その他	—	21
営業外費用合計	1,361	1,214
経常利益	37,019	54,977
特別利益		
関係会社株式売却益	—	10
特別利益合計	—	10
税引前四半期純利益	37,019	54,987
法人税、住民税及び事業税	2,853	3,049
法人税等調整額	1,295	10,664
法人税等合計	4,149	13,714
四半期純利益	32,870	41,273

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	37,019	54,987
減価償却費	29,702	31,087
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,173	441
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,568	△1,465
受取利息	△20	△20
支払利息	1,361	1,193
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△10
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△15,893	△19,974
売上債権の増減額 (△は増加)	191,329	△86,269
仕入債務の増減額 (△は減少)	△130,174	92,366
未払金の増減額 (△は減少)	△6,795	10,279
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△36,569	△781
その他	8,743	7,862
小計	75,961	89,697
利息の受取額	20	20
利息の支払額	△1,340	△1,196
法人税等の支払額	△18,359	△5,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,281	82,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△1,725
無形固定資産の取得による支出	△15,850	△20,680
関係会社株式の取得による支出	—	△50,000
関係会社株式の売却による収入	—	10
その他	△952	710
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,802	△71,685
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,996	△9,996
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△36,900	△31,029
その他	△351	△407
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,247	8,567
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,767	19,870
現金及び現金同等物の期首残高	1,064,091	1,074,469
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,056,323	1,094,339

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

当社は、2022年11月29日開催の定時株主総会の決議に基づいて、2023年1月12日付けで減資の効力が発生しており、資本金が496,633千円減少、資本剰余金が496,633千円増加しております。また資本剰余金179,137千円を利益剰余金に振り替えることにより、前期末における繰越損失△179,137千円を解消しております。

これにより、当第2四半期累計期間末において、資本金50,000千円、資本剰余金849,128千円、利益剰余金32,870千円になっております。

2. 当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	930,298	—	930,298	—	930,298
買取委託販売	851,232	—	851,232	—	851,232
卸販売	—	866,854	866,854	—	866,854
その他	121,008	—	121,008	—	121,008
顧客との契約から生じる収益	1,902,539	866,854	2,769,394	—	2,769,394
外部顧客への売上高	1,902,539	866,854	2,769,394	—	2,769,394
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,902,539	866,854	2,769,394	—	2,769,394
セグメント利益又は損失(△)	333,994	△1,127	332,866	△296,827	36,039

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△296,827千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用296,827千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益または損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	935,558	—	935,558	—	935,558
買取委託販売	1,268,876	—	1,268,876	—	1,268,876
卸販売	—	1,159,840	1,159,840	—	1,159,840
その他	126,361	—	126,361	—	126,361
顧客との契約から生じる収益	2,330,795	1,159,840	3,490,636	—	3,490,636
外部顧客への売上高	2,330,795	1,159,840	3,490,636	—	3,490,636
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,330,795	1,159,840	3,490,636	—	3,490,636
セグメント利益	322,188	29,408	351,597	△298,139	53,458

(注) 1. セグメント利益の調整額△298,139千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用298,139千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。